第２７９０地区 ROTARY CLUB OF KASHIWA-NISHI

柏西ロータリークラブ

創立：１９７５年１１月　７日
承認：１９７５年１１月２４日

会報 第 2062 号（7 月 26 日発行）

四つのテスト
1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるかどうか？

ロータリーは世界をつなぐ

第２０９５回通常例会 (2019.7.19)　　2019-20 年度　会長：岡島　昭信　幹事：安田　勝紀

■柏西ロータリークラブ URL.http://kashiwa-nishi-rc.com/　■第 2790 地区ロータリークラブ URL.http://www.rid2790.p/2018/

２０９５回通常例会

1. 点　　鐘　岡島昭信　会長
1. 会長挨拶　岡島昭信　会長
1. 幹事報告　安田勝紀　幹事
1. 点　　鐘　岡島昭信　会長

第１回クラブ協議会

会長挨拶

会長　岡島　昭信

今年は、梅雨が長い。日照時間が少ないので様々な影響が出ている様です。日本は梅雨の時期に、作物が栄養分を吸収し、伸びていく、そして梅雨が終わると今度は太陽の恵みを燦々と受けて、更に作物が成長し、秋には豊作をもたらすという、そういう成長過程ですが、今年の場合は、これまで日照時間が極端に少ない。

《　７月３日～１２日の日照時間　》

前橋 0.4 時間、八王子 1.2 時間、熊谷 1.4 時間、宇都宮 4.2 時間、東京 4.5 時間、等。この１０日間、殆ど太陽が出ていない。記録的である。東京都心に関しては７月１日～１２日までの日照時間は 5. ２時間で統計のある１９６１年以降では、これまで最も少なかった１９６９年の 10. ９時間を抜き、最も少ない記録となっている。この日照時間の不足により、野菜や果物などの成長に影響が出ている他、夏物衣料や夏物飲料、プール、海などの人手にも影響が出ている様です。かつて、１９９３年（２６年前）日照不足で冷夏だった、東北や関東の太平洋側を中心に農業被害が相次ぎ、タイやアメリカから米を輸入して「平成の米騒動」とも言われた。只、現時点では米不足への不安は余り話題になっていない。それには、いくつかの理由がある。その一つが『品種改良の進歩』。冷害の被害が大きかった品種が、宮崎県を中心に栽培されていたのが「ササニシキ」だった。「コシヒカリ」に次ぐ全国２位の作付面積の銘柄米だったが、寒さに弱かった。これを機に、代わりに伸びてきたのが寒冷地に強い品種として作られた「ひとめぼれ」だった。「ひとめぼれ」の作付面積の割合は２０１８年産で 9.2％と「コシヒカリ」の 35％に次ぐ２位となっている。『寒冷地に強い米作りが進んだ結果、産地が更に北へ進んだ』これが二つ目の理由。元々、稲の原産地は亜熱帯地方なのだが、今日では北海道が全国２位の大産地となっている。この牽引役となっているのが寒さに強い品種の「ななつぼし」だ。「ひとめぼれ」の系列の品種に、寒冷性に優れた品種を掛け合わせて、一層寒さに強い品種を作り出している。更に、日本人の食生活が変化してきている。農林水産省による「米」の総需要量は１９９３年度の９７１万トンから、２０１７年度には８２４万トンと、15％減ってきている。日本一の産地である新潟県では「コシヒカリ」の生育は今のところ平年並みと見ている。北海道では、６月まで順調だったが、７月に入ってからは降水量、日照時間ともに平年より少ない状態になっている。

ですから現時点では、我々の口に入る米が足りなくなったり、オリンピックで日本を訪れる外国人に『おもてなし』が出来なくなったりする心配は無さそうだということです。

我々の命を繋ぐ食物、その中心となっているのは『米』である。だから昔から日本人の『祭り』や『祈り』は、豊作を願う『五穀豊穣』からきています。ですから、豊作を願っております。

さて、今日は「クラブ協議会」があります。クラブ協議会は本来、クラブのプログラムと活動、会員教育について協議するためにあるものです。西クラブ全員の会合です。当柏西クラブは伝統のある素晴らしいクラブで、非常に有能で寛大であり、奉仕活動に積極的に取り組む素晴らしい人々の集まりであります。止むを得ない方以外の方は、全員が出席をされて充実した意義のある協議会にしたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

以上をもって会長報告とさせて頂きます。

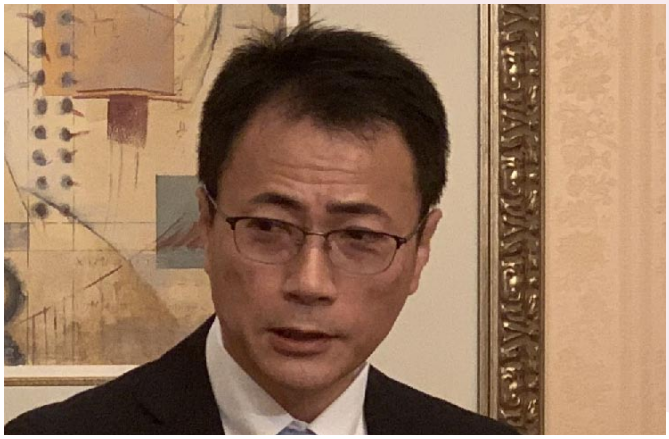
幹事報告

安田　勝紀

①地区会員増強・維持拡大セミナー開催の案内
　日時：８月 31 日 (土)14：00 ～ 17：00
　場所：TKP ガーデンシティ千葉
② 2020 － 21 年度ガバナー補佐顔合わせ会のご案内
　日時：８月 25 日 (日)13：00 ～ 17：00
　場所：三井ガーデンホテル千葉
③ 2019 年７月１日以降、地域リーダーの担当エリア表記を「ゾーン (Zone)」から「地域（Region)」に変更
④例会変更のお知らせ
我孫子 RC：7/30(火)18：30 ～家族親睦例会

第１回クラブ協議会

司会　安田　勝紀　幹事



クラブ管理運営兼戦略計画委員会　中嶋　利生　委員長

クラブ管理運営委員会の活動報告です。

プログラム委員会は、会員卓話者と外部卓話者のバランスを考え構成していきたいと考えます。会員卓話は会員の企業人としてどの様な活動、事業をして会員各位のとのつながりが深められるか，交感を大切にして行いたいと考えます。外部卓話に関しては、激変する世の中において企業人として関心あるもの、広く社会にどのように貢献しているかを話していただき、知識を深めたいと考えます。

親睦活動委員会は会長、幹事の意見、希望を重視し活気のある親睦活動を運営したいと考えています。毎例会の受付の運営は勿論の事、他委員会との連携を図り魅力ある例会づくりに貢献します。又、特別例会や継続事業の実施は親睦委員を中心とする開催を検討する。会員親睦事業の開催など会員間の交流を深め毎例会実施していきたい。又、新入会員は、入会後親睦委員会に所属し一日も早くクラブに溶け込めるよう配慮、サポートしていきます。

活動計画

１．例会時の受付の運営
２．新入会員の受け入れフォロー
３．ニコニコボックスの促進
４．特別例会の運営 (新旧役員交代式、納涼例会、周年事業、新年例会、会長幹事打ち上げ旅行)
５．月一回の炉辺会議、及び親睦事業の運営

出席委員会については、皆さん折角入会した柏西ロータリークラブですので、プログラム委員会、親睦活動委員会と連動し､出席重視を基本として尽力していきます。

研修委員会はロータリークラブの存在、活動をより深められるよう勉強会の実施を行います。以上、クラブ管理運営委員会の活動報告を終ります。

奉仕プロジェクト委員会　水野　晋治　委員長

本年度奉仕プロジェクト委員会の委員長を務めます水野です。一年間よろしくお願い致します。奉仕プロジェクト委員会内の各委員会は職業奉仕委員会　委員長は松本隆一郎会員、副委員長は勝田健一会員となっております。社会奉仕委員会　委員長は塚本英夫会員、副委員長は宇田川博司委員、住田みゆき会員となっております。青少年奉仕委員会委員長は森市直樹会員、副委員長は細田啓介会員、国際奉仕委員会委員長は金本元章会員、副委員長は田代充会員となっております。

今年度当委員会の方針は、職業奉仕、社会奉仕、青少年奉仕、国際奉仕の各委員会間の連携・調整を図り効率的且つ効果的な奉仕プロジェクトの実施を目指します。また、継続事業の見直しと新たな奉仕プロジェクトの企画立案と調査、実施を促します。また、秋実施予定のタイ北部アカ族の村に対する水支援事業については、関係者と連携を図り、スムーズな事業実施を進めます。続いて各小委員会の方針です。

職業奉仕委委員会

会社の目的及び存在意義は次の３つに集約されると思います。

１．お客様の役に立つこと。喜ばれること。
２．社員、株主をはじめ関係者を幸せにすること。
３．社会的責任を果たし、社会貢献・奉仕をすること。

良き企業として社会的責任を果たす事も立派な社会貢献・奉仕に通じると存じます。社会貢献・職業奉仕の最たることは、良き企業として良い仕事をし、地域の方々を雇用し成長・発展して地域に再投資することと思います。その為の企業行動指針は、倫理性、コンプライアンス遵守､４つのテスト適合の基準軸が重要と思料します。会員各位が、職務を通じて発展することにより立派な職業奉仕活動となり、岡島会長の活動方針にもつながるものと存じます｡今年度の委員会活動計画は次の通りです。

１．社会的関心の高い職場見学の実施
　　原子力関連施設の見学・豊洲新市場見学等
２．奉仕プロジェクト委員会との協力
３．その他

社会奉仕委員会

地区研修・協議会で社会奉仕事業は継続させること、

とのことですので、基本的には前年度の継承になります。ロータリーの文献の中に、社会奉仕はロータリアンひとりひとりが「超我の奉仕」を実践する機会である、と書いてあります。岡島年度各事業へみなさんの積極的な参加をお願いします。

活動計画

１．大堀川清掃
２．ゴミゼロ運動への参加
３．幼稚園、老人ホーム訪問
４．こども食堂への支援
５．柏祭りへの協賛

青少年委員会

青少年奉仕は、指導力育成活動、社会奉仕プロジェクト及び国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育むプログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらせることを認識するものである。若い人々の多様のニーズを認識しつつ、よりよき未来をもたらすために彼らの生活力を高めることによって、若い人々に将来への準備をさせることは、各ロータリアンの責務である。クラブは、新世代の基本的ニーズ（健康・人間の価値・教育・自己開発）を支援するプロジェクトを立ち上げるよう奨励されている。RYLA(Rotary Youth Leadership Awards)ロータリー青少年プログラム地域社会の指導者として、また善良な市民としての資質を伸ばすことを目的に、青少年指導者育成プログラムとして始まりました。青少年が自分自身と社会、世界について新しい発見をすることができ、倫理、奉仕、親睦の理念について学べるよう機会を提出する。

① RYLA への参加
②いのちと夢のコンサート（奨学生に一番大切なことを感じてもらえる）

国際奉仕（姉妹クラブ）委員会

私は昨年、地区の委員長を通じてロータリーは奉仕活動をすることで、クラブにエネルギーを取り組んでゆくという側面を持っていること、奉仕の停滞は何も生み出さないばかりか、クラブを衰退させることにつながってゆくのだと学びました。奉仕活動に積極的に取り組んでいるクラブは会員数も増え、活き活きとしたクラブになるかと思います。「何一つ、不自由のない国に生まれたロータリアンとして、広く世界に目を向ける事を願います」ロータリークラブメンバーであることを誇りに思えるような国際奉仕活動を努めていくよう皆様と共に頑張っていきたいと思います。会員の皆様方のご支援とご協力を得ながら私なりに精一杯努力してまいりたいと思いますので、よろしくお願い致します。

活動計画

１．設立４５周年記念事業への参画及び協力
　ア．タイ北部アカ族の村及び学校に浄水設備支援と就学環境の支援
　イ．台中港東南扶輪社港扶輪社（姉妹クラブ）との交流
２．会員の国際奉仕に対する意識の高揚
３．他委員会との協力及び連携

会員増強委員会　金子　正　委員

ロータリークラブを活気のある魅力的なクラブにする為には会員数を増やして、一人でも多くの魅力ある人を集めなければなりません。今年度、岡島会長は純増５名以上と目標を掲げました。そのために会員のみなさまの協力を頂きたいと思っています。よろしくお願いします。

公共イメージ委員会　中村　靖　委員長

「人道と博愛の奉仕精神」これこそがロータリークラブの精神風土であり存在意義であると思います。このロータリー哲学を地域のみならず広く社会全般に訴求し、ブランドとして認識され、かつ愛され期待されるために、私たちは継続して活動内容を伝ていく必要があります。そのため当委員会は、他の各委員会と連携しながら、下記の施策を実行してまいりたいと考えております。

1. クラブ週報の内容を更に充実した楽しいものにしていきます。
2. ホームページのビジュアルを更に美しいものにしていきます。
3. 公式 LINE を積極活用し、情報の共有を図ります。
4. FACEBOOK を活用しクラブ活動を発信します。Instagram や Pnterest など画像・写真系 SNS にも挑戦します。

ロータリー財団委員会　鈴木　桂三　委員長

ロータリー財団委員会の鈴木です。岡島年度上期の活動計画の発表をさせて頂きます。当委員会には２つの小委員会があります。ひとつは住田委員長を中心とした基金委員会です。住田さんにはロータリーでの奉仕の理念の実践について会員一人ひとりに（特に入会５年未満の新しい会員）良く理解して頂き、ロータリー財団への支援をお願いして頂きたい。特に財団への支援に消極的な方にも重点を置いて活動して頂きたい。

ふたつ目はポリオプラス委員会です。委員長は鈴木一弘さんです。一弘さんには国際ロータリーの奉仕活動で最優先項目であるポリオの根絶について卓話等を通して会員の皆さんにわかりやすく説明して頂き、他人事になりがちなポリオ根絶に今以上に関心を向けていただけるよう活動して頂きます。ポリオには年間３０＄以上の寄付をお願いしていきます。

最近ロータリー財団へ年間１０００＄以上寄付された方が役員交替式等で表彰されております。これは金子年度のときに決められたそうです。寄付された方にとっては非常に励みになります。今後も是非続けていきたいと考えます。更にややもすると寄付へのモチベーションが落ちて途切れそうになる毎年１０００＄以上の寄付を５年以上続けてされている方にクラブ創立４５周年のお祝いの席で感謝を込めて盛大に表彰したいと企画しております。

ロータリーの奉仕活動はロータリアンとその賛同者からの寄付のみで賄われております。寄付がなければ奉仕活動はできません。会員の皆さんどうか宜しくお願いします。

ロータリー米山記念奨学会　榊　隆夫　委員長

米山奨学会事業は、ロータリー財団と並ぶ日本のロータリーの二つの大きな柱です。柏西ロータリークラブは、今まで多くの米山奨学生を受け入れてきました。地区の奨学生の受け入れ人数は、おおむね地区の寄付実績の全国比に応じて決められております。2790 地区の 2019 年度の奨学生は、継続 6 名、新規 20 名の 26 名です。奨学金は、月額学部課程 10 万円、修士、博士課程 14 万円です。ちなみに、修士課程在学の、本クラブの胡さんには、年間 168 万円が奨学金として支給されます。2019 年 6 月末の西クラブの実績は 972,000 円です。これをどう考えるか。

予算書をご覧ください。支出の欄、RI 分担金、備考欄に米山寄付金とあります、これはクラブとして、会員の会費から一人当たり 4,000 円を負担しているものです。金額として約 260,000 円、地区としては、年間一人当たり 15,000 円の寄付を望んでおります。皆様には、この差額約 10,000 円ほど全員が寄付していただくとありがたいと考えます。この上に、いいまで通り、これ以上の特別寄付をお願いするものです。米山奨学会事業とロータリー財団は、ロータリーの看板事業です。是非皆様のご協力ご支援をお願いいたします。

出席報告	
会員数	６５名
欠席者	１４名
石井、江口、影山、ゲイビ、小林正直、小林太時、齋藤、白水、杉山、住吉、花島、廣川、升谷、山田　会員	
出席率　78.46％	

これからの例会予定

月日	曜日	例会	卓話者・他内容
8 月 9 日	金	通常	日暮肇会員
8 月 16 日	金	任意休会	お盆休み
8 月 23 日	金	通常	織田和雄様
8 月 30 日	金	夜間	納涼会
9 月 6 日	金	通常	白水志治会員

ニコニコＢＯＸありがとう！

★ パートナー誕生日：川和　会員

★ (^^ ♪

金子会員　初孫の女の子が誕生しました

次回の例会は 8 月 2 日 (金) 通常例会です。

クラブ会報委員／浅野肇・松本ユミ・中塚雅人・湯浅千晶

卓話・会報の原稿は kwrc.photo@gmail.com までお送り下さい。

欠席報告は、木曜日の午前中まで

※ LINE グループ「柏西ロータリークラブ」

※柏西ロータリークラブ事務局「04-7162-2323」

☆事前に欠席が分かる方は SAA にお知らせ下さい